

もっと「同友会大田支部」を知ろう！ 参加しよう！

NEWS

おおた の同友

OTA
NO
DOYU

2023年度

第42回

大田支部 総会開催



大田支部中期活動ビジョン

すべての会員企業に経営指針を!!
～科学性・社会性・人間性を磨こう～

2023年4月13日に大田支部総会が大田区産業プラザPioにて開催されました。

新型コロナウイルスの社会的な影響が収束に向かう中、2022年度の振り返りと2023年度に向けての方針が発表されました。

新年度の大田支部、新たな気持ちでよろしくお願い申し上げます。



大田支部インスタグラムをフォローしよう！



おおたの同友 116号(2023年5月発行)

大田支部からの
お知らせ

大田支部会員数は
181名
(期首179名)です。

広報委員会

広報委員会：島村亮
(株式会社ルミナス)

平林正樹(順天堂大学)

郷家由佳(アクアカンパニー)

広報委員長：針谷周作
(コトノハ株式会社)

発行:一般社団法人
東京中小企業家同友会大田支部

「だから当社は自己資本経営をするんです! ～株式会社芝橋 代表取締役 渡辺大氏講演」に参加して

報告者

株式会社オズ・クラフト 代表取締役

小澤一心氏

開催日:2023年3月17日
場 所:大田区産業プラザPio
例会担当:製造部会



今回、大田支部例会に初めて参加しました。受付での説明がわかりやすく、進行もスムーズで気持ちよく参加することができました。

歴史ある会社、株式会社芝橋 渡辺社長のお話はとても内容の濃いお話をしました。苦悩した出来事、苦渋の決断をしたこと、会社内での人間関係のことなど、辛い体験談を出し惜しみなくお話くださいました。

その素晴らしい講話の後、グループディスカッション等で様々な経営者の方と話すことができました。経営者は普段ひとりで考えひとりで物事を消化することが多いですが、私が現在悩んでい

る内容を話すと「過去同じような悩みがあったけど、このようにして乗り越えたよ」とヒントをもらいました。経営者の生の声が聞け、アドバイス頂けることは、普段の生活の中で中々ないので本当に貴重です。それが同友会にはあります。

男気あふれる島村支部長はじめとする同友会大田支部には、まるで遊びの話をするかのように楽しく仕事の話をし合える経営者がいっぱいいるので、様々な業種の会員の方と深い交流をしながら切磋琢磨し今後の会社の成長に繋げていきます。

経営者が おすすめする本

株式会社エフ・クライミング 代表取締役

比留間一彰 社長より



推薦
者



株式会社リサイクル・ネットワーク
代表取締役社長

大久保茂忠氏

『自分の小さな「箱」から脱出する方法 ：人間関係のパターンを変えれば、うまくいく!』

アービンジャー・インスティチュート 著
富永 星 訳 金森 重樹 監修 (大和書房)

この本は、有倉前支部長から紹介された本で、今では人間関係に悩んでいる社員がいたら、読む様に手渡しするほど、大きな存在となっています。

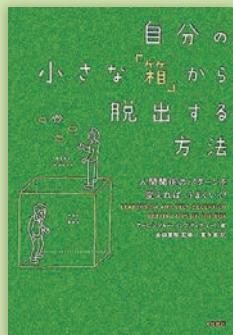
内容は、ザグラムという会社に転職してきたプライドの高い主人公「わたし」が、転職先の上級管理職研修（上席との丸一日の一対一ミーティング）を受け、身の周りの人間関係はすべて自分が原因で引き起こしていることに気付いていくという自己啓発系の内容です。

この本と出会う前は、よく社員との関係性において「こっちは、こんなにやってあげているのに、どうして、あいつは分かってくれないんだ!」と、自分自身を過大評価し、社員に非があると決めつけていました。分かってほしいので、個人面談を通して何度も説明

し、「分かりました」と返答をもらいますが、大きな変化は見られず、ますますイライラする状況でした。

これこそが「自分の箱に入っている状態」でした。問題は「相手」にあるのではなく、本当は「自分」にあるということを、主人公「わたし」を通して気付かされました。「いったん自分の感情に背くと、全ての思考や感情が何をしようと、自分が正しいと主張し始める（行動の正当化）」というくだりは、寸分の狂いもなく普段の私の行動そのものでした。

残念ながら、今でもちょくちょく「箱」に入って、人間関係をこじらせてしまっていますが、この本のおかげで、そこから脱出するヒントを知りえた様な気がします。

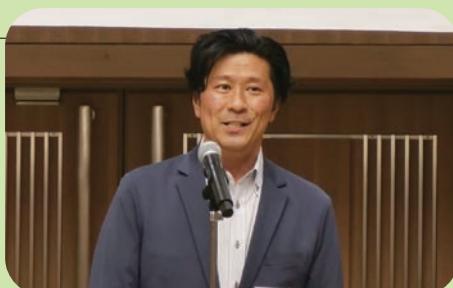


濱口賞

寺嶋卓氏

(寺嶋社会保険労務士法人・代表)

東京中小企業家同友会大田支部では4月支部総会にて、昨年度一番同友会活動に取り組み会社を伸ばされた会員を、初代支部長・濱口氏の名前を冠し「濱口賞」として表彰しています。今回の受賞は、寺嶋社会保険労務士法人の寺嶋卓氏となりました。



同友会大田支部が主催するイベント情報は、

同友会大田支部ホームページ



<https://ota-doyu.com>



にアクセス

2023年度活動方針

部会

社員の心に火をつけて 明るく元気な 社風をつくる会 (FIRE部会)

新井哲雄氏(株式会社アートピース・代表取締役)



今年11月期にスポーツ大会を開催する予定です。

実践・経営指針の会

志賀弘毅氏(LBMコンサルティング・代表)



理念の土台にビジョン、経営方針、計画、達成という考えは従来通り変更はない。
指針の会では真ん中に目標達成があり一方から理念、もう一方からは計画、と横串を刺すことで経営者の論語と算盤経営の支援ができないか検討中です。

大田21政策研究会 (21研)

田中基茂氏(有限会社グローバル・コミッション 取締役社長)



(1) 月一回の定例世話人会の開催継続。隔月毎勉強会の開催。
(2) 他団体との交流推進。世話人の増強…その他、昨年提出工程表ご参照。

ブロック会

大森ブロック会

赤澤大三郎氏(株式会社MSネット・代表取締役)

- ・毎月最終火曜日（10回 / 年開催予定）の「下駄ばき交流会」を開催
- ・立正大学経営特論の「プレ講義」を実施する



リバーサイドブロック会

佐々木正勝氏(三笠総合保険代表)

- (1) ブロック会毎月定例開催、継続をめざす。
- (2) 担当例会を、こなす。…大田支部会員の経営体験例会としたい処。
…とにかく継続する所存。みな様のご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



蒲田ブロック会 休会

委員会

都立高専产学交流委員会

田中基茂氏(有限会社グローバル・コミッション・代表取締役)



- 中小企業家経営塾とインターンシップを中心に、よい事前準備と内容の充実を! 次の課題を引き寄せるものに!
- 『産学連携協議会』は、形式主義を廃し、学校の現状の理解、企業よりの問題提起など、相互理解を進めるものに
- 中小企業家経営塾(日本語演習)は、担当教授との事前打合せにより授業の性格を明確にし、よい事前準備、練られた講師配置により、次世代の産業の担い手を、よりよく啓発するものに
- インターンシップ会社説明会……事前準備により、早めに開催形式を確定し、地域の企業がより多く学校に集まるものに。可能であれば、学生と企業を結びつける新しい試みと学生へのより良い学習の機会の提供を!
- 大連学生海外派遣……2024年度よりの再開の検討を
- カリキュラム等……全学年を通して積み上げるものづくり進路選択支援(キャリアデザイン)プログラムほか

立正大学产学交流委員会

元木和洋氏

(株式会社イノベーションワーキングカンパニー・代表取締役社長)



立正大学経営学部「経営総合特論」への経営者の講師派遣。経済の最前線で活躍している中小企業を招き、経営者の生の声を聴き、日本経済を支える中小企業の必要性を理解することを目的とする。本事業は、東京中小企業家同友会と立正大学経営学部の産学連携事業として実施中。

広報委員会

針谷周作氏(コトノハ株式会社・代表取締役)



2022年度同様の発行ペース(年3回)で広報誌を制作。

同好会

大田ゴルフ会

安藤日出男氏(羽田運輸株式会社・代表取締役)



2023年度 第28回
同友会大田ゴルフ会
4月16日(日曜日)
次回予定 第29回
7月末定日

2023年度 大田支部活動方針

支部長 島村 亮氏 (株式会社ルミナス・代表取締役)



大田支部中期ビジョン

『すべての会員企業に経営指針を!! ～科学性・社会性・人間性を磨こう～』のもと本年度も昨年度の活動方針をほぼ継続して参ります。

●会員数200名体制をめざします

昨年度は14名の新しい会員様を増やしましたが、退会者も同じ数だけ出していました。会活動の充実をはかり、魅力ある大田支部をめざし、ご紹介をいただける楽しい会にしましょう。

●会内の活性化をさらにすすめます

各部会・委員会のメンバーの皆様も同様に感じていると思いますが、やはり会の活性化に欠かせないのは新しい“風”でしょう。新会員様を中心に積極的に声をかけ新しい知恵を常にそいでいきましょう。具体的には

- ・会員個々の仲間づくりのサポートができるように具体的行動をおこす
- ・部会活動の魅力を積極的にPR
- ・中心メンバーの充足をはかる

●支部例会に力を注ぎます

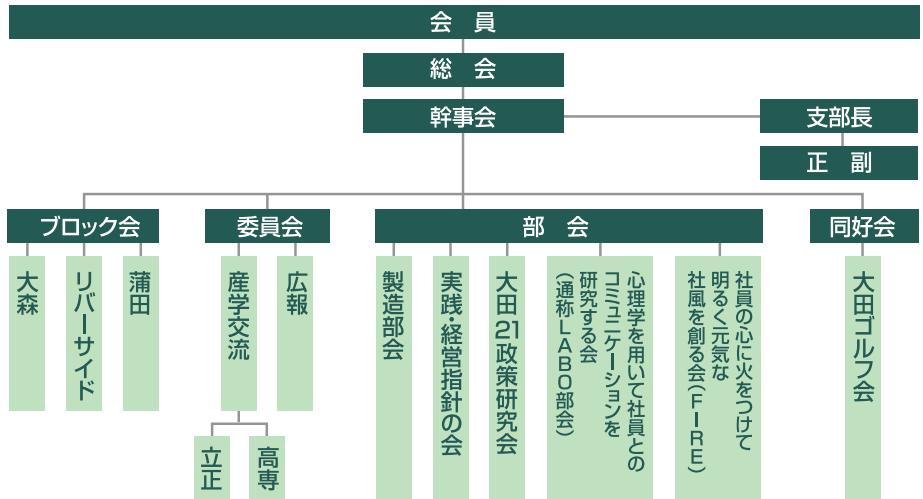
特に経営体験報告を中心企画して、知り合うこと。高めあうこと。認め合うことを求めていきたいと思います。なんといっても同友会活動の宝物は人との出会いだと思います。

・例会参加者を増やす

- ・例会準備を確実に進める
- ・例会では学びのまとめを座長が必ずするです。

さらに今年度は他県他支部間交流を深めることをめざし、少しづつ体制づくりをして参ります。思うところは“全国につながる同友会”を実感できる大田支部を作りたい。

本年度も皆様よろしくお願ひいたします。
以上を 第42期 大田支部活動方針案として提案いたします。



2023年度 活動方針

部 会

→ 製造部会

渡辺大氏(株式会社芝橋・代表取締役)



世話人会・世話人会&トップウォーターシステムズ武田氏の立正大学
プレ報告会・ヒダン工場見学会・
世話人会・理化学研究所大森素材工学研究室見学会・広島県福山同友会見学会・世話人会・大田支部例会担当（講師候補 藤本隆宏先生）・忘年会・世話人会・
経営体験発表

→ LABO(心理学を用いてコミュニケーションを研究する会)部会

岡野亜希子氏(社会産業教育研究所・代表)



心と理念の相関性・社員面談の方法を考える・社員へ思いを簡潔に伝える・傾聴 そして 理解（要約）・
理念の階層を構築しよう～価値観の階層を構築しよう～・大田支部例会・理念と価値観の階層を合わせよう・転職したら社労士だった件・経営は健康から・
採用面接を考える（前編）（キラーエクスチョンを探す）（仮）・採用面接を考える（後編）（大学生を面接してみましょう）（仮）・採用面接を考える（後編）（大学生を面接してみましょう）（仮）